

田中研新聞

第98号

2021年
9月1日発行

甲南大学知能情報学部田中研究室 ほぼ毎月発行
http://carnation.is.konan-u.ac.jp
編集責任 田中雅博

ますます重要になってきた

英語の勉強方法

英語の重要性

そのため、好き嫌いに関わらず、英語以外の、互いに異なる言語を母語とする人同士でのやり取りは英語になります。

昔、世界共通語を作ろうという流れがあり、エスペラント語という人工言語が作られました。思い通りに普及しているとは全く言えません。アメリカやイギリスが嫌いな人でも、外国人とは英語を話すことは当たり前と思っ

皆さんは、日本にいる限りは日本語のみで生きています。一歩外国に足を踏み入れたら、日本語が通じる世界は非常にわずかです。どこでも何と通じる言語は英語なのです。

日本人は全般的に英語は苦手

英語が母語ではなくても、言語が似ていて、方言程度の違いしかない言語もありません。ヨーロッパの言語、特に、北欧などの言語は英語に近いと言われています。我々も、関西弁と九州弁くらいの違いなら、その気になっただけでマスターで

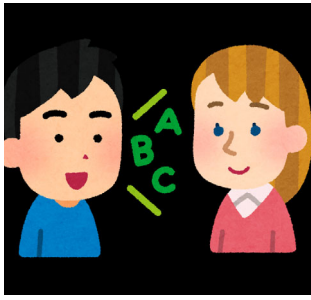
きそうです。

日本語と英語は残念ながら語順が大きく違っていて、自然に覚えられず、吸収する能力が高い時に、外国語の環境に身を置けば、マスターできるといわれています。母語がしつかりすることがその人の知能の発育に重要という意見もあって、皆がすべきではないように思っています。

文法が似ていて、単語を置き換えればほぼ変換できるといわれているのがハンダ語です。私自身はハンダ語を全く知りませんが、真偽のほどはわかりませんが、彼らも英語のマスターには苦労しているのでしょう。

国際ビジネスコミュニケーション協会が発表した2020年の国別TOEIC L&R受験者スコアによると、1位ドイツ826、2位フィンランド773、12位韓国683、27位日本531のようです。韓国や中国の点を見ると、「文法が英語と違うから」という理由だけでは説明できません。

現実として、日本人が英語が苦手であることは認めざるを得ません。



何ができればいいか

我々、英語がネイティブではない者にとつての、必要な英語とは何でしょうか。これは、立場を逆にして考えれば答えはわかりません。

特に外国人向けでない、現地での普通の講義は、理解しなければ留学もできませんし、留学しても成果を挙げることはできません。ここでは、リスニング（ヒアリング）が決定的に重要ですが、これが実は最も難しいと思っています。

どうやって訓練するか

1. 学会、国際会議

私は、オーストラリアにある、IIASAという国際研究所の職員として1年5か月滞りましたので、外国人と英語で会話することにそれほど緊張感はありません。

セミナーや学会で発表するのは、中でも楽な方です。自分で話す内容をパワーポイントにまとめ、それを見ながら話せばいいという条件は、かなり楽なものと感じます。

発表が最も楽で、それよりも英語がきついなと感じる、国際学会のBanquet（宴会）があります。日本の学会でも懇親会というものがあつたが、一般的に、日本の学会は立食が多いのに対し、外国の学会ではバンケットは大抵テーブル席です。いわゆる、コース料理の場合も多々あります。大学は、バンケット参加は学会の主目的ではないといつて、参加費を削ったり、その日の宿泊費を削ったりすることがあります。参加は学会の主目的ではないといつて、参加費を削ったり、その日の宿泊費を削ったりすることがあります。参加は学会の主目的ではないといつて、参加費を削ったり、その日の宿泊費を削ったりすることがあります。

2. TED講演

You Tubeに、TEDと検索するとたくさん動画による講演があります。TEDは、超一流の人

による、講演の録画で、言語はほとんど英語です。

内容は、T（テクノロジー）、E（エンターテインメント）、D（デザイン）が3本柱です。人工知能関係の講演もたくさんあり、私の「パターン認識」では動画を視聴したりもしています。また、この秋から担当する情報英語でも、TEDの講演を使用して、英語を聞いてもらおうと思つています。聴衆は英語に困つてない人達ですので、話すスピードは遅くはありません。この講演はYou Tubeに長年残つて人が聞かなくなり、とても洗練された素晴らしいものがたくさんあります。皆さんだったら、ゲーム関係の話を聞いてみたらどうでしょうか。TEDは、英語のみならず、講演の勉強にもなり、非常に有益なものです。

3. オンライン英会話

この方法は費用が掛かるが確実に英会話が上達するであろう方法です。

インターネットを使ったオンライン英会話がたくさんあります。ひと昔前は「駅前留学」などと言つて、近くに学校があつて、そこに行つたら英語を話す先生と教室があるという形がありました。今は、インターネットで1対1で英会話をすることがあります。先生がどこにいるかも決まつていませんが、人件費が安く、時差が少ない、フィリピンの先生が人気と聞いています。私の知り合いの小中学生や中学生も、気軽に英会話を楽しんでいるのを見ることがあります。1日に25分を毎日やつて1か月数千円くらいです。気軽

に楽しんだらどうでしょうか。

うちの娘は、ネイティブスピーカーに喫茶店などで会つて英会話をしているという形のレッスンをしています。

私の頃は、会社に入つてから、英会話教室があつたり、ベルリッツの教室に行つたりしましたが、今はずつと敷居が低くなつています。

自分はシャイだから・・・という人、あなたのシャイなところが誰にも気にしていません。犬も食べません。残念ながら、人生、やつたもの勝ちです！

予定あれこれ

- 10月29日 修士論文中間発表会
- 10月30日 確率システムシンポジウム（立命館）
- 11月6日 研究参加予定
- 11月9日 MOBI Oシリーズ（東大阪）発表会
- ラジオ体操操点システムおよび脳卒中後機能評価システムの発表予定
- 12月15日～17日 SICE-SI参加

田中研新聞は11月号で100号を迎えます

の方、この10月10日、ぜひお読みください。10月10日、ぜひお読みください。10月10日、ぜひお読みください。

編集後記

ここ数日、暑くて寝苦しい日が続いていますが、今晩からは雨で少し秋に向かうのではないかと思っています。

後期から「情報英語」を担当するため、最近英語に触れることが多くなつてきました。そのため、頭にあるのもそういうことが多く、それを今回は記事にしてみました。

私の経験が皆さんにそのまま役に立つわけではないと思いますが、外国人の英語力というか、外国人に対する劣勢が目を覆うばかりという感じが日ごろからしています。

うちのゼミの学生は生粋の日本人ばかりではありませんが、英語の必要性は同じです。自分の英語力を点検し、不足しているなど思つたら、ぜひとも、これからの1年を英語力アップを目指してみようではないでしょうか。

国際人になるには、まず英語から。そのつもりでやってみよう！（田中）